

# 大人も必要な、お金の「ちしき」!

お金の「ちしき」は、もちろん大人にも必要になります。  
 今も未来も、幸せに安心して生きていくために、各項目ができているかチェックしてみましょう。

## A

- 1カ月の収入額を知っている
- 1カ月の支出額を確認している
- 先取り貯蓄をしている
- 固定費の削減をしている
- 衝動買いはせず、数日考えたり、情報収集をしてから購入する

## B

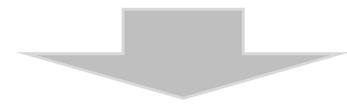
- 資格やパソコンなど仕事に役立つ勉強をしている
- 投資、または投資の勉強をしている
- 行政に申請することでもらえる手当や助成金をチェックしている
- 健康的な生活を心がけている
- 将来はもっと稼ぎたいと考えている

## C

- 世帯の収入・支出を把握している
- 老後の必要金額を計算している
- 人生の3大支出(教育費・住居費・老後費用)のために貯蓄している
- 見栄や世間体よりも、家族の安心や幸せ、健康を大切にしている
- 子どもに、家計について話をする

## D

- 詐欺・犯罪にあわないよう、情報収集し対策をしている
- 簡単にはローン・借金をしない
- 大きな買い物の際は、契約条件をよく確認する
- 困ったことがあったら、解決できるまで人に相談する



## A

が少ない人は・・・

お金を計画的に  
使う・貯める



をやってみましょう

## B

が少ない人は・・・

お金を増やす・  
より良く働く



をやってみましょう

## C

が少ない人は・・・

人生のお金を考える  
(ライフプランニング)



をやってみましょう

## D

が少ない人は・・・

危険をさける・  
トラブルに備える



をやってみましょう

# 家族のために、まずはここから！

もくひょう 月

A

## お金を計画的に 使う・貯める



### 1. 先取り貯蓄をする

お金を上手に使うためには、  
収入があったら使う前に一定額を貯蓄しましょう。

子どもが小学生の間にお金を貯めましょう。先に貯蓄をして、最初から無かったお金と思えば自動的に貯まっていきます。  
毎月、収入の10～20%の貯蓄をめざします。  
例えば児童手当などを、別の口座に入れて使わないようにしましょう。

他にも、方法はいろいろあります。

- ・勤め先で、「給与天引き」ができるか確認する。
- ・銀行に「先取り預金をしたいです」と、相談する。
- ・毎月、自分で別の口座に移す。

### 2. 固定費をへらす

小さな節約をがんばるには苦勞が多いですが、固定費をへらすと、  
ラクに節約ができます。

固定費を下げるにはいろいろな方法があります。

- ・格安スマホやガラケーに変更する。
- ・保険を見直す。
- ・電気・ガス料金プランを変更する。
- ・家賃を下げるために、大家さんに相談すると下げてもらえることがあります。

一度調べて変更するだけで、毎月の支出をへらすこともできます。  
例えば、行きつけのスーパーよりも安いスーパーを探してみましょう。

⇒ A ができたら色ぬり 

もくひょう 月

B

## お金を増やす・ より良く働く



### 1. 働く・収入アップする

収入アップは、思っているよりも「チャレンジしてみる価値」があります。

今すぐでなくとも、いつか役に立つかもしれません！  
まずは、どんなお仕事があるか探してみましょう。  
今、働いている人も、収入アップできるお仕事がいないか、ときどき調べてみましょう。  
パソコンなど、収入アップにつながる勉強をつづけましょう。行政の講座などは無料で教えてくれるところもあります。

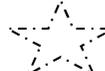
収入アップに取り組むことは生きがいにもつながります！

### 2. もらえるお金をチェック

調べてみたり、人に話を聞くことで、お得な情報を知ることができます。

行政の給付金などは、申請することでもらえるお金もあります。  
自分で調べないと知らずに終わってしまいます。

収入アップに向けた勉強のためのお金、子どもの奨学金など、たくさんの種類があります。  
申請に時間がかかる場合もあるので、早めにチェックしましょう！

⇒ B ができたら色ぬり 



## 人生のお金を考える (ライフプランニング)



### 1. 世帯の収入・支出を確認

まずは、現状チェック！  
赤字はないか、黒字はどれだけか、知ることが大切です。

別紙ライフプラン・シミュレーションシートを使って、年間の収支予定を書いてみましょう。入学式など大きな支出がある時も忘れずに。黒字になりましたか？ 必ず、先取り貯蓄をして黒字にしていきましょう！

そして家計簿に、実際の収入・支出を書き出します。家計簿がめんどろな人は、レシートを保管して、月ごとに合計するなど、必ず把握しましょう。いくら残っているかの「残高」を毎月チェックしましょう。

### 2. 将来必要な費用を確認

将来を見通すことで、道がひらけます。  
一度、じっくり考えて見ましょう。

教育費は、いつまでにいくら用意する必要があるか調べてみましょう。公立中学への入学に最低10万円、公立高校への入学に15万円はかかると言われてています。大学や専門学校も、奨学金を借りられたとしても60-80万円は支払う可能性が出てきます。

また、子どもが大きくなって、親が働けなくなった後も、家賃や食費など毎月お金がかかります。別紙ライフプラン・シミュレーションシートを使って将来のお金を計算してみましょう。



## 危険をさける・ トラブルに備える



### 1. 「もしも」を考えてみる

病気や詐欺など「もしも」のことがおこると、大きなお金のトラブルにつながります。

何より危険をさけることが大切です！

- ・クレジットカードは正しく使わないととても危険
- ・キャッシング・借金には手を出さない
- ・健康のため体を大切に
- ・詐欺について、どんなものがあるか調べてみる
- ・年金、健康保険の保険料は必ず払う

学資保険などは、親の死亡など「もしも」のことに備えることができ、さらに先取り貯蓄もできます。

### 2. 人に相談する

困った時や苦しい時は、必ず専門家に相談しましょう。  
大切なことを決める時も、人に相談しましょう。

「もしも」のことが実際に起こってしまった時や苦しい時は、ひとりで解決すると大変なことになることもあります。困った時は、正しい判断ができなくなるからです。NPOや行政など必ず専門家に相談しましょう。難しい問題でもどうしたらいいかを教えてもらえることもあります。

例えば、新しい仕事をはじめる時、借金をする時など人生に大きな影響があるため、必ず他の人にも相談しましょう。